

# TAOC

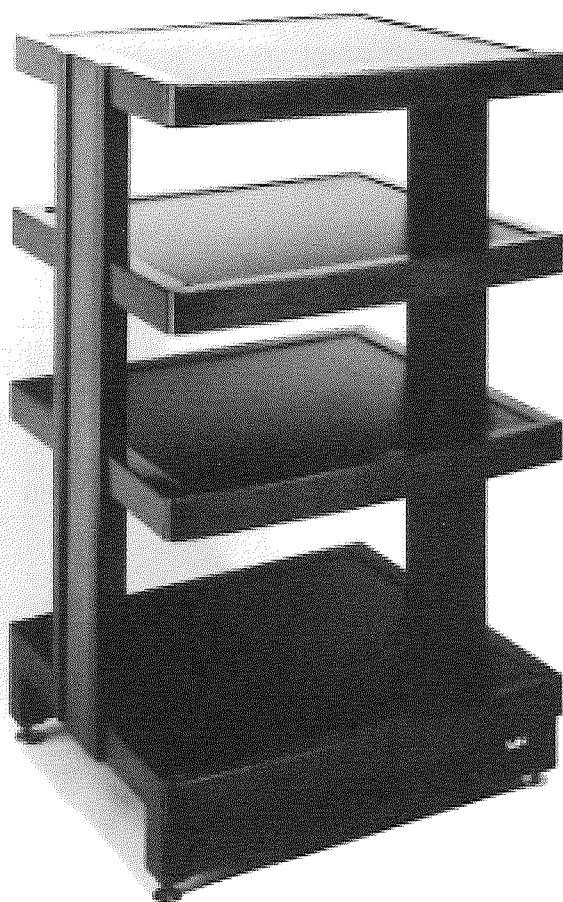
## コンポ・ステーション

---

### CSシリーズ

#### 取扱説明書

---



このたびは、TAOCのコンポ・ステーションをお買い上げいただき、ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をお読みいただき記載事項にしたがって正しく組み立てを行って  
下さい。お読みになった後も大切に保存してください。

**AIT アイシン高丘株式会社**

## 1. 主な特長

- (1) 機器の取扱がしやすい2本支柱構造を採用  
機器の出し入れはもとより、機器の後ろに楽に手が入るのでピンコード類の結線などの作業がしやすい。
- (2) 支柱内部には铸铁粉を充填、フレームは二重鉄板と木材との複合とした制振構造を採用  
異材質接触の摩擦制振効果により金属の鳴きを極力抑さえてあります。
- (3) 棚板支持と脚部支持はオールスパイク構造を採用  
スパイク支持方式の採用により床など外部からの振動を抑制します。また全てのスパイクは高さの微調整が可能となっているので機器の水平出しができます。
- (4) 棚板は5層構造を採用  
棚板は、铸铁粉の芯を高密度パーティクルボードでサンドウィッチし、表面を硬質メラミン板で仕上げていますので、高剛性・高比重で振動減衰性に優れています。
- (5) 重量機器の搭載が可能  
厚さ22mmの棚板を、中央と4つのコーナーで荷重を支える5点支持の採用により重量対策は万全です。
- (6) 棚の間隔は35mmピッチで調整が可能  
お手持ちのAV機器に合わせて棚間寸法を設定できます。
- (7) 棚板はリバーシブル仕様で色調の選択が可能  
搭載機器の雰囲気に合わせて、ブラックかライトグレーかの色調が使い分けできます。(但し、スパイク支持構造ですので、機器を搭載してから上下を変えた場合にはスパイク跡が残ります。)

## 2. 仕様

- (1) 共通仕様
  - ・フレームの金属部塗装色はブラックグレーメタリック
  - ・棚フレームの木材材質は天然なら材
  - ・棚間調整ピッチは35mm
  - ・棚板寸法はW500×D450×H22mm
  - ・棚板表面色はブラックとライトグレーのリバーシブル
- (2) 組立寸法および重量

| 型式   | 寸法 (幅×奥行×高さmm) | 重量 (Kg) | 搭載機器耐荷重                                   |
|------|----------------|---------|-------------------------------------------|
| CS-3 | 590×520×720    | 50      | 1段当たりの耐荷重<br>100Kg<br>全段トータルの耐荷重<br>400Kg |
| CS-4 | 590×520×965    | 65      |                                           |
| CS-5 | 590×520×1210   | 80      |                                           |

## 3. 使用上の注意

- (1) 本機はAV機器収納用のラックです。他のものへの利用はさけてください。
- (2) 本機は重量物であり、スパイク（ピン）が装着されますので、取り扱いには十分注意してください。
- (3) 床面の保護のため付属のプレートをお使いください。(但し、組立て後の設置の過程で床面にスパイク跡がつくことをご了承ください。)
- (4) 本機は水平でしっかりとした床に設置するものとし、不安定な場所には設置しないでください。
- (5) 本機を倒さないように注意してください。
- (6) AV機器を載せたまま移動させることは危険ですのでしないでください。
- (7) AV機器の収納は、下段から順に行ってください。重量のある機器を上段から収納すると、安定性が悪くなり傾く恐れがあります。
- (8) 本機の汚れは、中性洗剤を柔らかい布に含ませて軽く拭いてください。シンナー、ベンジンなどは使わないでください。
- (9) 本機の分解、改造はしないでください。
- (10) キャスターは純正オプション（CS-120）以外は使用しないでください。

### ⚠ 注意

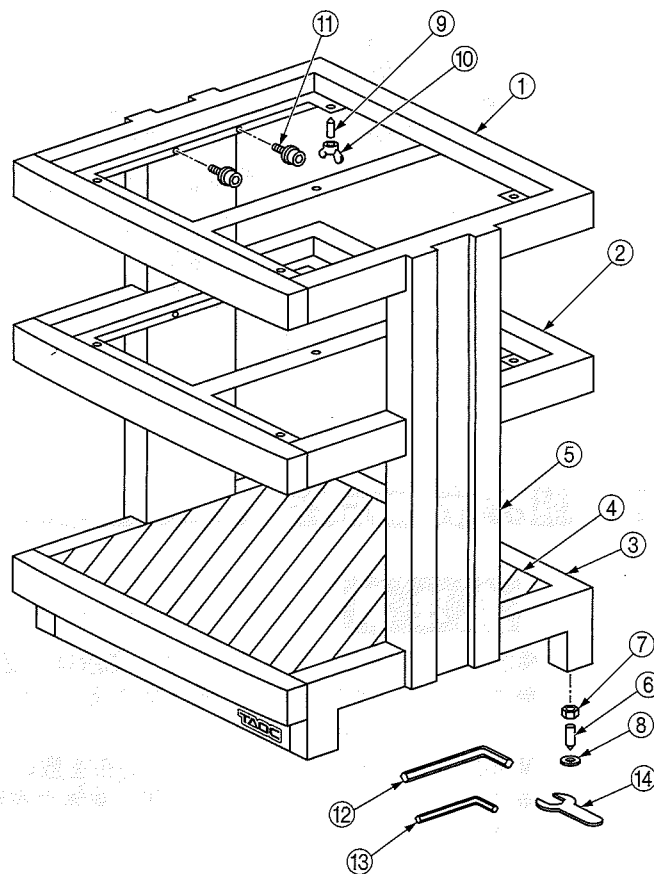
本製品は重量物であり、スパイク（ピン）が装着されますので、組み立て時、運搬時に落としたり、ひきずったりすることのないよう十分注意してください。

## 4. 各部の名称と数量 (下図はCS-3の例です)

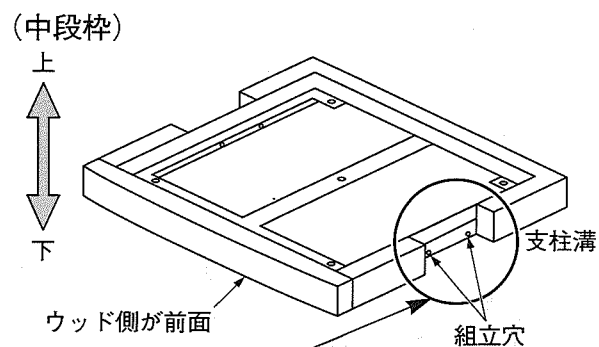
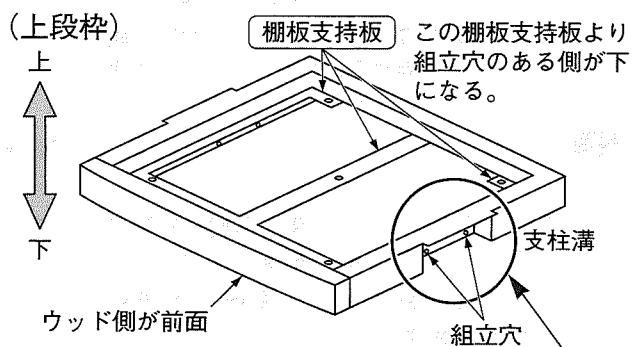
### [1] 部品表

右図と下表により、各部品の数量をご確認ください。

| No. | 名 称                 | 型 式 | CS-5 | CS-4 | CS-3 |
|-----|---------------------|-----|------|------|------|
| ①   | 上段棚枠                |     | 1    | 1    | 1    |
| ②   | 中段棚枠                |     | 3    | 2    | 1    |
| ③   | 下段棚枠                |     | 1    | 1    | 1    |
| ④   | 棚板                  |     | 5    | 4    | 3    |
| ⑤   | 支柱                  |     | 2    | 2    | 2    |
| ⑥   | 脚部支持スパイク(M8)        |     | 4    | 4    | 4    |
| ⑦   | 脚部スパイク固定用ナット(M8)    |     | 4    | 4    | 4    |
| ⑧   | 脚部スパイク受皿            |     | 4    | 4    | 4    |
| ⑨   | 棚板支持スパイク(M6)        |     | 25   | 20   | 15   |
| ⑩   | 棚板スパイク固定用ナット(M6)    |     | 25   | 20   | 15   |
| ⑪   | ワッシャー付き棚枠固定用ボルト(M8) |     | 28   | 24   | 20   |
| ⑫   | 六角レンチ(太) ⑪用         |     | 1    | 1    | 1    |
| ⑬   | 六角レンチ(細) ⑨用         |     | 1    | 1    | 1    |
| ⑭   | スパナ(13mm) ⑦用        |     | 1    | 1    | 1    |

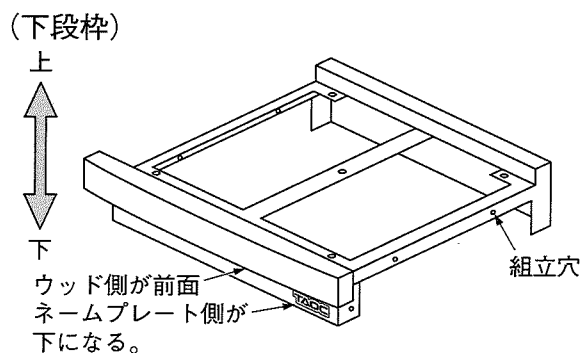


### [2] 棚枠の上下、前後、上中下段の見分けかた

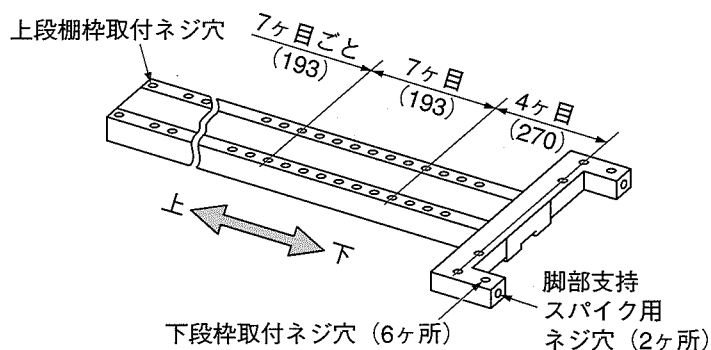


#### 上段枠と中段枠の区別の仕方

上段枠には支柱溝の上面に出っばりがありますが中段枠には出っばりはありません。他の部分は同じですので間違えないようにしてください。



### [3] 支柱の上下の見分けかたと棚枠標準取付位置



**注** 2本の支柱に左右の区別は有りません。どちらの位置でも使用可能です。  
棚の間隔は35mmピッチで変えられます。左図の標準取付位置を参考にして、お好みの棚間寸法を設定してください。

#### (標準取付位置にした場合の棚間寸法)

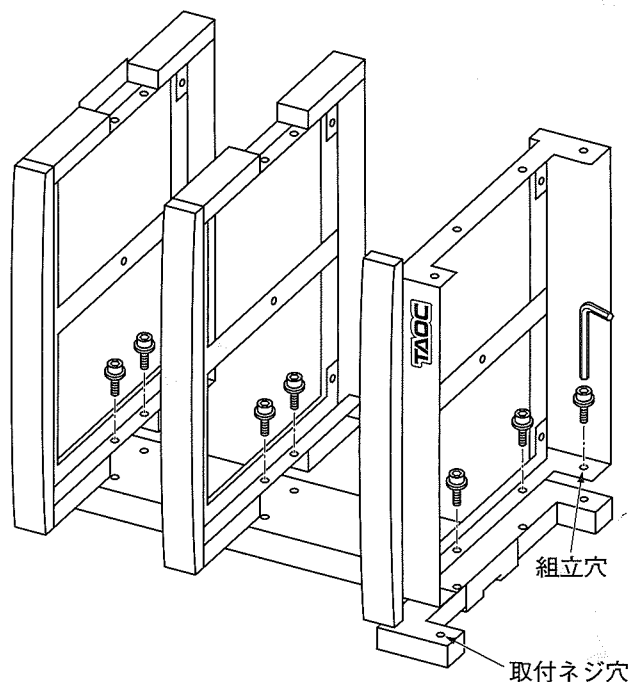
|        |       |
|--------|-------|
| 最下段の棚間 | 270mm |
| 2段目より  | 193mm |

## 5. 組み立て方法

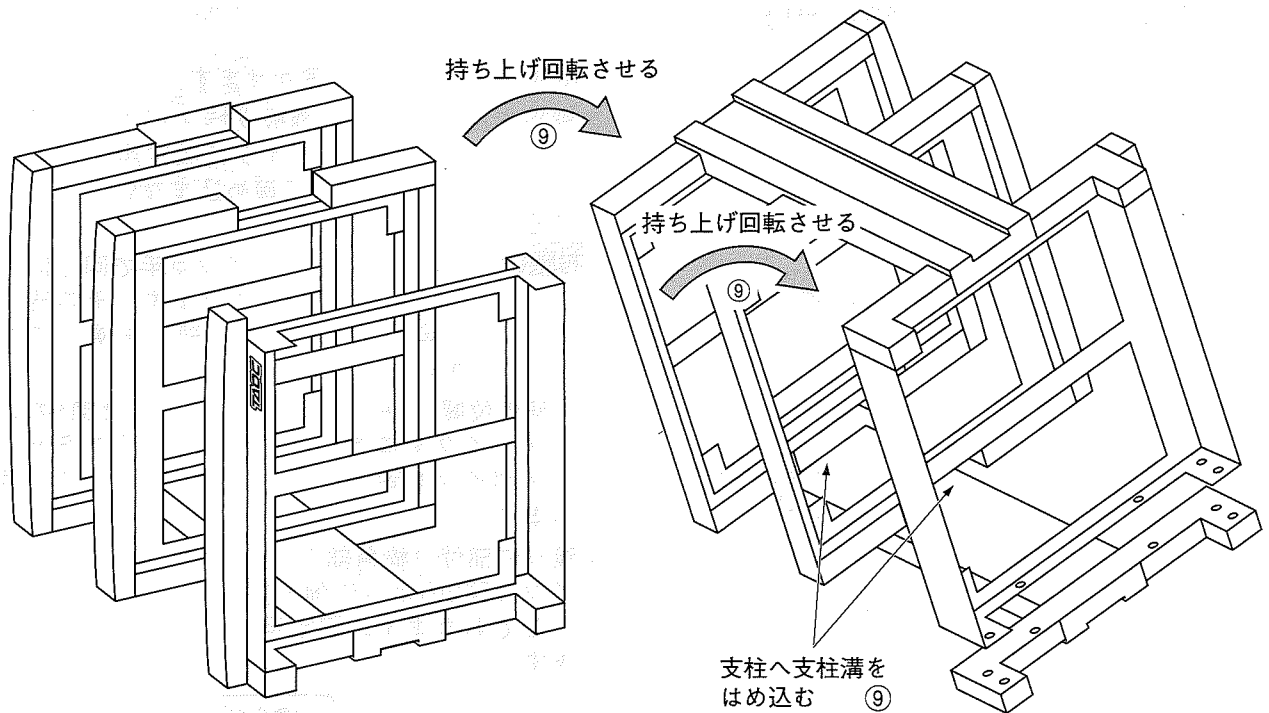
### ⚠ 注意

- 2人での作業をおすすめします。(5段は、必ず2人で行って下さい)
- 本ラックの組み立ては、平坦な床面上で行い、組み立て作業を行う際には、身体上への落下、倒れには十分注意してください。
- 床面には毛布等の大判の柔らかい布を敷いて、その上で組み立ててください。
- スパイクを組み付けるときには、身体や衣服をひっかくことのないように、取り扱いには十分注意してください。

### [1] 棚枠と支柱の組み付け



- ①床面に支柱を1本、棚枠取付ネジ穴を上に向け、ウッド面は床面側になるように置きます。
- ②支柱の下段枠取付ネジ穴に下段枠の組立穴を合わせながら、棚枠固定用ボルトを付属の六角レンチ(太)で仮止めします。(6ヶ所)  
**注** 仮止めとはワッシャーがつぶれない程度に締めておくことを言います。
- ③中段枠の棚間の寸法を4-[3]を参考にして決め、組み付け穴位置を確認します。
- ④その穴位置に合わせて、支柱に中段枠の支柱溝をはめ込みます。  
**注** 棚枠の上下、前後を間違えないようにしてください。
- ⑤枠の組立穴と支柱の棚枠取付ネジ穴を合わせながら、棚枠固定用ボルトで仮止めします。(2ヶ所)
- ⑥残りの中段及び上段枠を④、⑤と同じ要領で仮止めします。



⑦全ての枠の仮止めが終わったら下段枠の仮止め箇所（6ヶ所）を六角レンチ（太）を使って六角穴付ボルトを本締め（十分に締め付け）します。

**お願い** 下段枠の脚の部分はレンチを回しにくいところにボルト位置がありますが、これは剛性を確保するための位置です。しっかりした締め付けをお願いします。

**注** 中段及び上段枠は仮止めのままです。

⑧下段枠部の締め付けが終わったら残りの支柱を①と同じ要領で置きます。

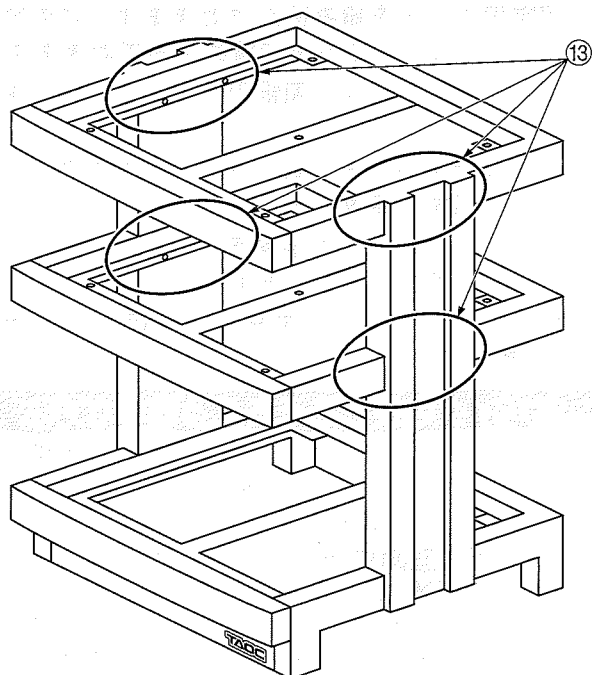
⑨半組み立てしたラックを持ち上げ、ひっくり返しながら床面に置いた支柱へ反対側の支柱溝をはめ込みます。

**お願い** この時には上段、中段枠は仮止めの状態でぐらつきますので、その点に注意してはめ込みを慎重に行ってください。2人での作業をおすすめします。

⑩②と同じ要領で下段枠から仮止めし、⑤～⑥と同じ要領で中段及び上段枠を仮止めします。

⑪全ての箇所の仮止めが終わったら下段枠の仮止め箇所（残り6ヶ所）を⑦と同じ要領で締め付けます。

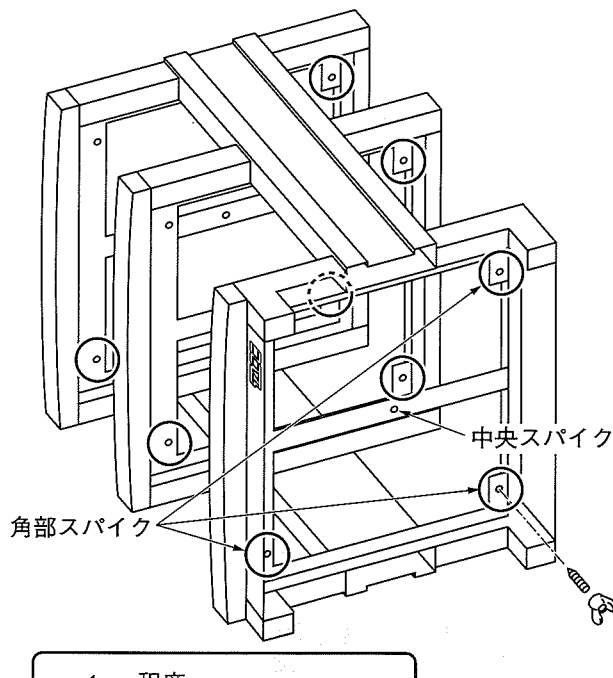
**注** 本締めするのは下段枠のみで、上段、中段枠は仮止めのままです。



⑫下段枠の本締めが終わったら本体を立てます。

⑬立てた状態で上段、中段枠の仮止めした全箇所を六角レンチ（太）を使って本締めします。

## 〔2〕棚板支持スパイクの組み付け



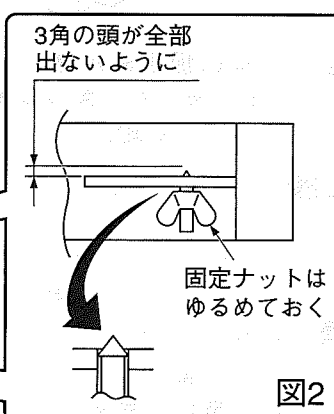
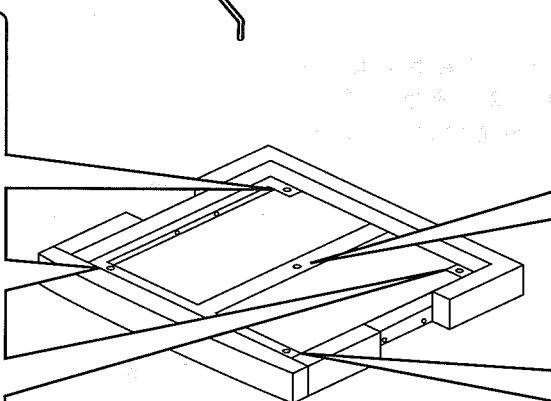
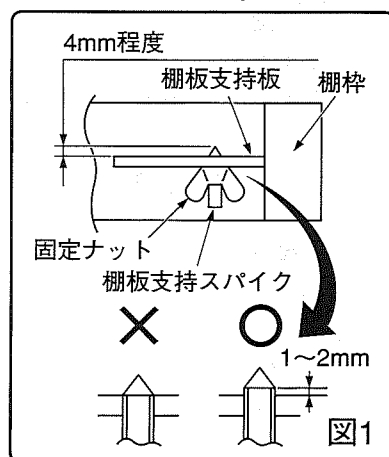
①本体を再び横向きに寝かせます。

②棚板支持板全箇所に棚板支持スパイクを組み付けます。棚板支持スパイクに固定用ナットをネジ込みます。(最後まで締め込まないで適当なところで止めておく)

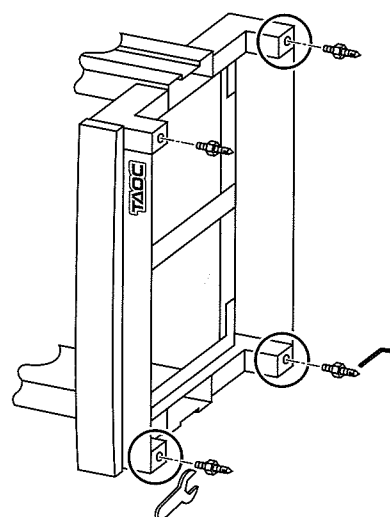
**お願い** 塗装の関係上スパイクが手で回しにくい(きつい)場合があります。その時には付属の六角レンチ(細)を使ってください。

③○部の位置(1枠当たり角部の3ヶ所)は図1のようにスパイクを基準高さに設定し、固定用ナットでスパイクを固定します。各段について同様にします。

④残りの部位(枠角部の1カ所と枠中央部)のスパイクは図2のように他の部位よりも1ミリ程度短くしておきます。固定用ナットはゆるめておきます。



## 〔3〕脚部支持スパイクの組み付け・・・キャスターを付ける場合には次ページの「キャスターの組み付け」を参照ください。



①脚部支持スパイクの組み付けが終わったら、本体は寝かせたままにしておきます。

②脚部支持スパイクに固定用ナットを組み込んでおきます。この時ナットはこれ以上は入っていかないところまで締め込んでおきます。

③脚部支持スパイク用ネジ穴にスパイク(固定用ナットと一体)をねじ込みます。

**注** スパイクのねじ込みには六角レンチ(細)をスパイクの穴に差し込んでハンドルのように回すと簡単です。

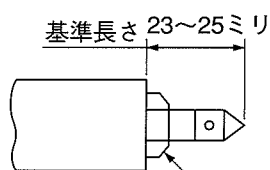
④○部位置3ヶ所は図3のようにスパイクを基準長さ(23~25mm)に設定し、固定用ナットでスパイクを固定します。

⑤残り1ヶ所は図4のようにスパイクを基準高さより短くし、固定用ナットはゆるめておきます。

### スパイクの長さをそろえる簡単な方法

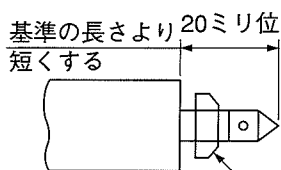
支持スパイクと固定用ナットは必ず②の状態にしておいてください。②の状態ではナットが脚の底面に当たるまでねじ込みます。

ナットが脚の底面に当たったら六角レンチをハンドルにして3回転ゆるめます。そうするとナットが脚の底面から離れます。ここでスパイクは回らないように手で押さえながら、ナットを付属のスパナで脚の底面に締め込んでスパイクを固定します。



支柱スパイクはナットを締めつけて固定します

図3

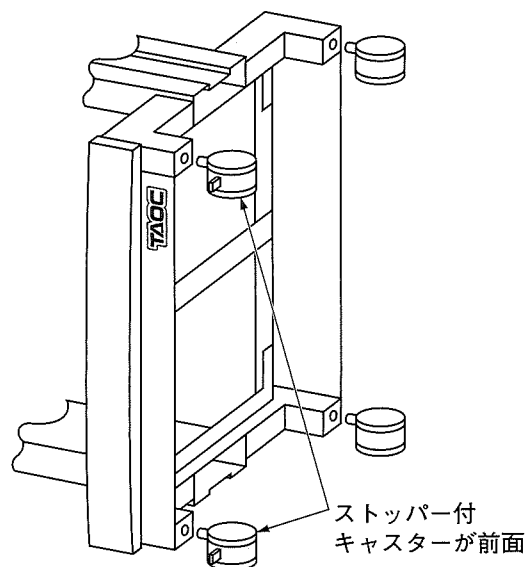


ナットはゆるめておきます

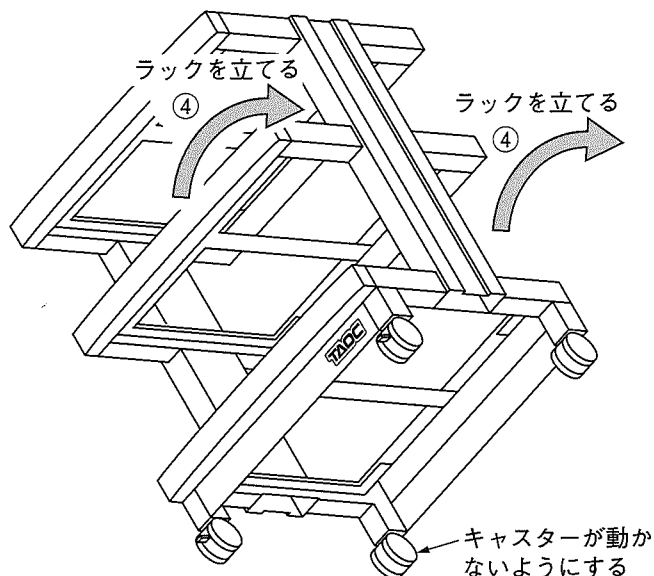
図4

## ■キャスターの組み付け

オプションのキャスター（CS-120）を組み付ける場合は以下の要領で組み立てを行ってください。尚、その際には、脚部支持スパイクと脚部支持スパイク固定用ナットは使用しません。



- ① 棚板支持スパイクの組み付けが終わったら、本体は寝かせたままにしておきます。
- ② 脚部支持スパイク用ネジ穴にキャスターのネジをお手持ちのスパナで十分に締め込んでください。
- 注** ストッパー付きの2ヶがラックの前面になるように組付けてください。
- ③ ストッパー付きキャスターのストッパーがかかっている（車輪が回らない）状態にします。

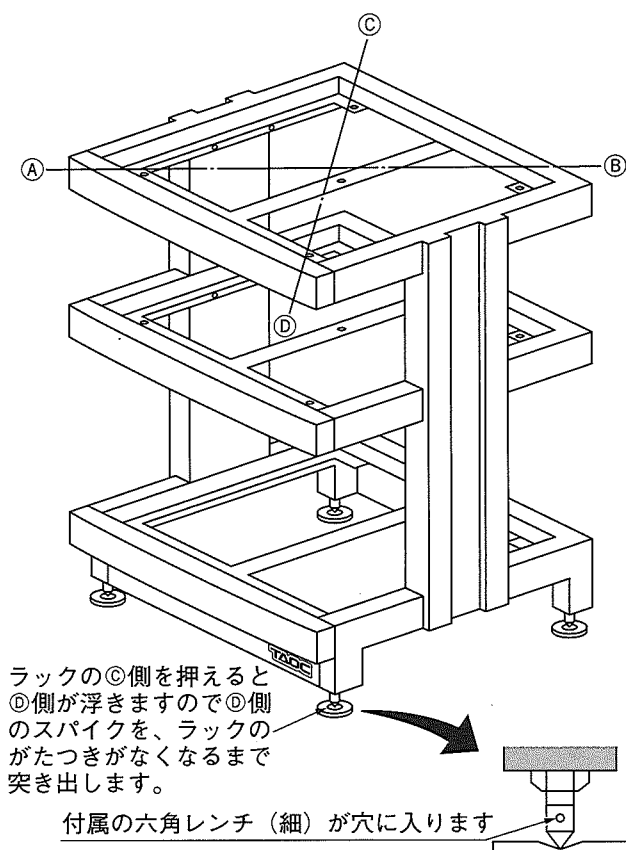


- ④ 本体を立てます。その際ストッパーなしのキャスターが回転をしない方向へ向くようにして行ってください。

### ！ 注意

立てる時にキャスターが回転しますと、その方向へ本体が動いてしまって危険です。そうならないように十分注意してください。2人での作業をおすすめします。

## 【4】脚部支持スパイクの調節について・・・キャスターを付けた場合は【5】より組み立てを続けてください。



- ① 脚部支持スパイクの組み付けが終わったら本体を設置場所へ立てて設置します。その際は付属のプレートをお使いください。（立ててからプレートを敷き込みます。）
- 注** 本体を立てる時は、スパイクで床を引きずらないように注意してください。
- お願い** 設置場所では一旦は床へ直接スパイクを当てることになりますので床にスパイク跡がつくことをご了承下さい。2人での作業をおすすめします。
- ② 基準長さより短くしてあるスパイクを六角レンチ（細）を使って、スパイクの先を出し、がたつきがなくなるように調節します。（レンチをスパイクの穴に差し込み時計まわりに回すと脚は長くなります。）
- ③ 調節が終わったら、スパイクを固定用ナットで固定します。

## [5] 棚板支持スパイクの調節

①脚部支持スパイクの調節が終わったら棚板を枠の中へ入れます。

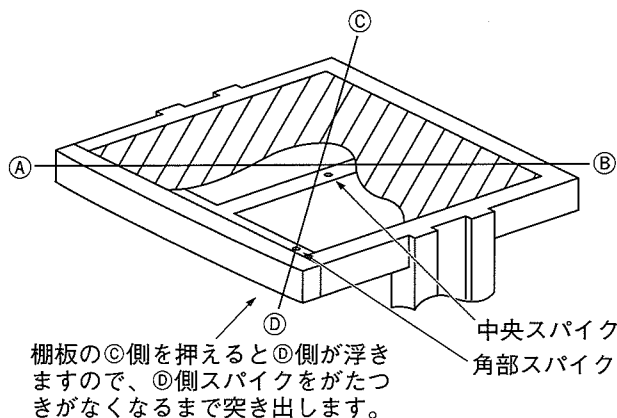
**注** 棚板は表面を保護しているシートを表、裏共剥がしてお使いください。

棚板の表面色はブラックとライトグレーのリバーシブルになっているのでお好みの方を上にお使いください。(シルバー、ゴールド系の機器にはブラック、黒系の機器にはグレーにすると機器が引き立ちます。)

**お願い** スパイク支持の特性上、最初に下面にした側の四角と中央部にはスパイク跡が残ることをご了承ください。

②角部スパイクの中で棚板支持スパイクの固定していない箇所をスパイクの先を突き出して、がたつきを調節します。

**注** 枠と棚板の平面度の相性により、1ヶ所のスパイク調整のみでは、棚板が安定しない場合もありますので、その際にはがたつきを手で確かめながら、該当するスパイクの固定ナットをゆるめて高さを調整してください。



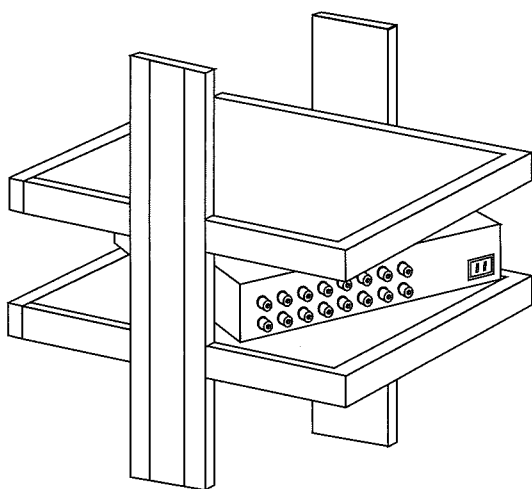
③②の調節が終わったら固定用ナットで、スパイクを固定します。

④中央スパイク(1枠当たり1ヶ所)をスパイクの先が棚板に触れるまで突き出し、固定用ナットでスパイクを固定します。

**お願い** 下段枠については、構造上この作業がやり難くなっていることをあしからずご了承ください。

## 6. 結線方法 (参考)

下図の用に搭載機器を棚板上で回すことにより本体の側面から結線することができますのでお試しください。

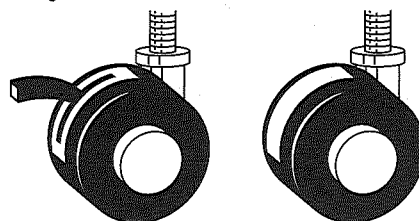


## 7. 純正オプション

キャスター

CS-120 (¥7,000/4ヶセット)

※キャスターをご使用になる際は、この純正オプション以外のキャスターはお使いにならないでください。



ストッパー付・ストッパーなし  
各2個1セット

本仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

後日のために記入しておいてください。

購入店名 \_\_\_\_\_

電話： ( \_\_\_\_\_ )

ご購入年月日：      年      月      日

製造元 **AIT アイシン高丘株式会社**

〒473-8501 愛知県豊田市高丘新町天王1番地  
TEL.0565-54-1382 FAX.0565-54-1588

発売元 **ハカミ工業株式会社**

■東京 TEL.03-3664-2484 ■大阪 TEL.06-6535-3450  
■仙台 TEL.022-262-8939 ■名古屋 TEL.052-339-2291  
■滋賀 TEL.0749-82-4334 ■福岡 TEL.092-281-7838